



# 金光教学院 話し方講座開催

6月27日、28日の二日間、金光教学院にて「教師のための話し方信心入門」が開催されました。受講生37名、講師11名が講義と実習を通して「話し方信心」を求め合いました。



## ※受講生の感想(抜粋)

☆人の目を見て話すのが苦手で、これまでできなかったが、聞く人は私に興味を持って目と耳を向けてくださっていると思う。これからは、話し手が話しやすいように、聞く稽古もしていきたい。

☆話しというのは奥が深いと感じた 特に、最後の講義の「あいよかけよ」。話しというのは自分ひとりではできない。相手がいてはじめて話になる。まさに「あいよかけよ」だと感じた。これからは「あいよかけよ」の心をもって話したいと思った。

☆話すことも聞くことも、自分の自由だと思っていたが、聞き方を間違えて変な先入観で人を判断していたり、相手を考えず自分の思いだけで話していることがあることに気付かされた。これからは、普段の会話の中でも、そういうことに気をつけて楽しくお話したいと思った。



## 道を伝える話し方 金光達太郎述

あいよかけよ  
昭和47年12月(第75号)



はじめに

わたくしは、この五年間、人間関係の問題に真剣にとりくんでいる言論科学研究所(所長・江本武彦)で、話し方を学んできました。

教外の風に吹かれてみて、本教にとつて何が大切かということ、いろいろわからせられました。それらは、考えてみれば当然のような、次の三つでした。

一、道は道を知っている人からではなく、道を行う人から伝わる。  
二、道は、人間関係に表してこそ社会に生きる。

三、自分の話し方は、自分の信心を映す鏡である。鏡をよくみて修行することが大切である。

こんなことが、「応わかっているつもりでいながら、なにひとつ実行していなかったことを反省しています。これらのことを皆さんと稽に、しっかり考えてみるために、いろいろな角度からお話ししてみたいと思います。

「話せる中身をいただこうある教区の青年教師会に、お招きを頂いたとさせていただきます。」

青年教師のみなさんに、今一番困っている問題は、何でしょう、と、うかがうと、

「いまの若い人たちの考え方や、その社会的背景がわからなくて、どうも、道を説くのがむずかしい。」

というお答えがでてきました。なるほど、と思いましたが、もうひとつピンと来ません。そこで、翌朝、「ほんもすんで、いよいよ勉強の時間になったときに、みなさんの中のお一人に、「先生、ちよとみなさんの前に立ってくださいますか。」とお願いしました。

「ハイ、何でしょうか。」

P先生はいぶかしげに首をひねりながら、みんなの前に立たれました。そこで、わたくしは「きょう、朝起きてから、いままでに、ありがたいと思われたことを、三分間ほど、お話ししてください。」

と申しますと、P先生はまるでオモチをノドにひっかけたみたいに目を白黒、やがて

「えーと、考えてみますと、ここに空気があります。もし、この空気がないと大変なことになります。」

そこで、こんどは

「では、こんどはQ先生、どうぞ。」

「ええっ、わたくしですか。」

「はい、どうぞおねがいします。」

「ええ、ききたい話で恐縮ですが、さきほど便所へまいりまして、充分に用をたすことができました。……」

「では、S先生、どうぞ。」

「ハイ」

続く

### ※東京金光教センタービル教室のご案内

日時：毎月第2・第4火曜、19:00～20:45  
場所：東京都文京区本郷2-17-11号  
詳しくは ⇒ <http://konwaken.konko.jp/>

### ※東京学生寮教室のご案内

日時：毎月第3土曜、18:30～20:00  
場所：東京都小金井市貫井北町5-22-27  
お問い合わせ TEL 042-326-0444 (学生寮)

